

行政

2025年度版
研 究 所
G U I D E B O O K

行政研究所について
私たちが紹介します！



第65期生 2025年3月 卒業

公務員を目指すあなたへ



明治大学行政研究所

行政

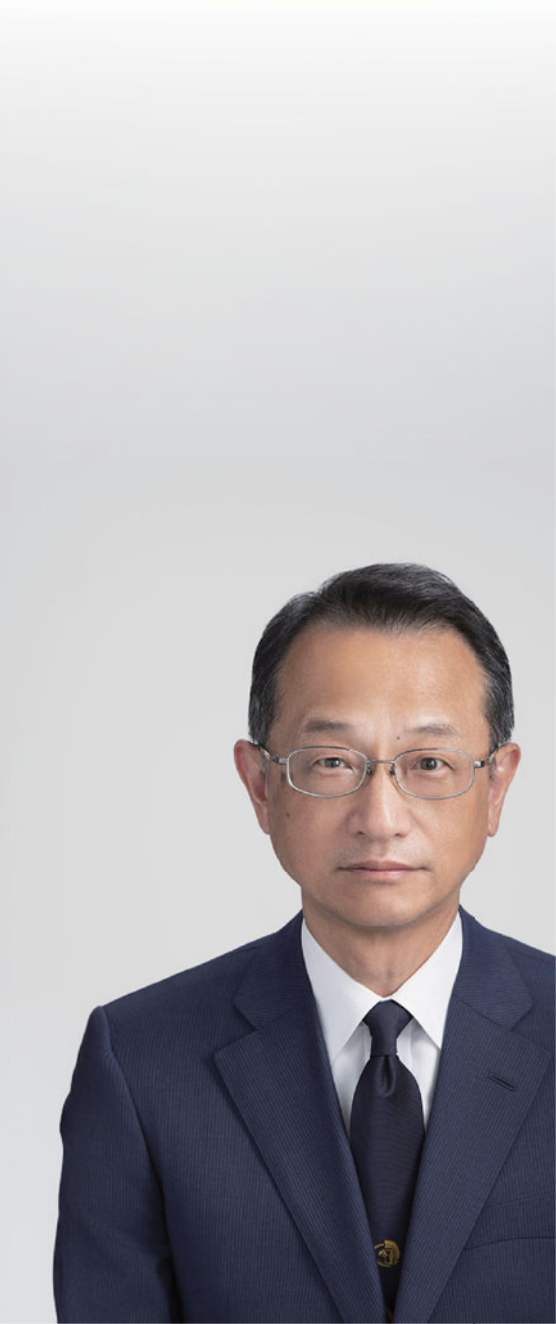
2025年度版

研 究 所

G U I D E B O O K

公務員試験
合格から内定まで





行政研究所長
西川伸一
(政治経済学部教授)

行研へのいざない ～「縁の下の力持ち」の矜持～

「縁の下の力持ち」という言葉があります。国語辞典を引くと「人に知られないが、陰で努力・苦勞すること。また、その人」と出てきます(『広辞苑』)。「縁の下」とは「縁側のゆかした」(『同』)のことです。私が子どもだったころの自宅にはありましたが、もはや昭和の「遺物」でみなさんにはイメージがわからないかもしれません。アニメの「サザエさん」をみてください。猫のタマがよく縁の下に隠れています。

さて、去年の元日に発生した能登半島地震は228人もの尊い命を奪いました。加えて、災害関連死は昨年12月17日時点で247人となり、地震の直接死を上回っています。災害関連死とは、災害で負ったけがが悪化したり、避難生活での身体的負担で病気になったりして死亡することです。「エコノミークラス症候群」が原因で亡くなるのはその一例です。

石破茂首相は昨年10月の臨時国会で行った所信表明演説で「災害関連死ゼロの実現」を掲げました。国際基準に沿ってTKB(トイレ、キッチン、ベッド)を配備する官民連携体制をつくとのこと。内閣府はエコノミークラス症候群などを防ぐために、簡易ベッドを避難所の開設時に設置するよう自治体に求めることにしました。避難所の運営は市役所や町村役場の職員が中心となります。とはいえ大災害では職員自身が被災者になる場合が多く、彼らだけでは十分な支援ができません。そのときは都道府県が、さらには国がリーダーシップを発揮して取り組むべきだとの意見もきかれます。ただ、そのためのルールがまだ未整備のようです。

いずれにせよ、市町村―都道府県―国という各段階の公務員が緊密に連携して、社会の「縁の下の力持ち」の役割を十分に発揮できる体制をつくる。これによってはじめて「災害関連死ゼロの実現」が可能になることでしょう。こうした公務員の仕事に魅力を感じる学生は、ぜひ私たち行政研究所(略称・行研ぎょうけん)に入室してください。行研は公務員試験合格を目指す学生たちに、勉強する場所とプロ講師による充実した授業を提供しています。そこには、同じ志を持つ多くの仲間が集ります。ちなみに2024年度春の国家公務員採用総合職試験で、明治大学からは40名が合格し、全国で15位、私立大学で5位になりました。まだまだ伸びしろはあります。「叩けよさらば開かれん」です。すぐに行動を起こして、行研であなたの近未来を具体的に設計してみませんか。

2025年4月1日

行政研究所(以下、行研)に関心をお持ち頂き、ありがとうございます。OB・OG会長の中川喜郎です。将来の仕事として公務員をお考えの皆さんへ、一筆啓上致します。

大学1年生の4月、私は、これから迎えるキャンパスライフに胸を膨らませていました。その一方、「将来、公務員として社会に貢献したい」という夢はあったものの、どうしたらいいか、何から始めれば良いかわからず、悩んでいました。学業と私生活、将来の夢―三者のバランスを取り、大学生生活を満喫する方法はないか……。模索を続ける中、「公務員を志す明大生のための明治大学の組織」として、行研の存在を知りました。

幸い入室試験に合格し、卒業まで4年間、大変お世話になりました。私にとって行研は、サークル活動であり、日常生活の場でした。行研生専用の自習室に入り浸り、自慢の「すっぴん勝負」の授業で不明点を聞きまくるなど、存分に活用させて頂きました。論文対策では、毎回真っ赤になって返却される答案に愕然としつつも、そのたびに先生の粘り強い面倒見の良さに救われたことは、良き思い出です。

また、勉強面に限らず、同期や先輩・後輩、先生、事務局の方との関連な交流も行研ならではの特色です。仲間とは合宿やラグビー観戦、入室試験の実施、スポーツイベントの企画など、多くの交流の機会に恵まれました。そうした機会への参加や運営を通じて、「縁の下の力持ちとして、仲間に笑顔を届ける醍醐味」を堪能させて頂きました。この経験は、公務員として働く今も、大切な糧として生き続けています。

どうか、少しでも「公務員になりたい」という思いをお持ちでしたら、ぜひ行研の門を叩いてみてください。踏み出す一歩が未来を切り開き、目標達成への歩みが自身をさらなる高みへと導いてくれます。行研で切磋琢磨され、実力と人間性を兼ね備えた人財に成長された皆さんと共に、住民、国民のため、公務に携われる事を楽しみにしています。



明治大学 行政研究所 OBOG 会長
中川喜郎
(東京都庁)

踏み出す一歩が未来を開く

沿 革 公務員を志す明大生のために

行政研究所は、1957年(昭和32年)故弓家七郎名誉教授(当時政治経済学部長)により明治大学行政研究指導室として設立されました。当時の目的は、「国家公務員上級試験および地方公務員を目指す特別研究生に対する指導を行い、併せて母校明治大学の学風振興に寄与しようとする」とあり、初代特別研究生は約10名でした。それ以後、時代を経るとともに組織は様々に変化しながら、その設立以来、多くの有為な人材を輩出してきました。設立から50年が経った2007年(平成19年)に、大学に新たに設置された国家試験指導センターの傘下に位置づけ直され、現在に至っています。現在では、目標を「一人でも多くの国家公務員採用総合職試験最終合格者を輩出すること」としています。現在、公務員は学生に根強

い人気がある職種の1つです。そして、公務員になるためには「公務員試験」を突破する必要があります。しかしながら、この「公務員試験」は大学入学試験以上の範囲と知識量を求められるものです。すなわち、ただがむしやりに勉強しているだけでは合格することが難しい試験と言わざるを得ません。そのような「公務員試験」の対策として、民間予備校、独学、あるいは大学が設置している対策講座などの手段が考えられます。しかし、いずれにおいても費用や情報量、精神的サポートなど、学生にとっての不安要素は尽きません。行政研究所は、「公務員を志す明大生のための明治大学の組織」です。皆さんが社会にとって有為な“良き公務員”として成長できるように、学業面に限らずあらゆる面で最大限のサポートをすることをお約束します。

募集概要（文系学生向け）

1年生：約100名、2年生：約100名（継続生含む）を募集します。

1	入室ガイダンス	4月3日(木)14:00～15:00 4月4日(金)12:00～13:00	【和泉図書館ホール】 【和泉図書館ホール】 ※両日とも同内容です
2	申し込み	詳しくは、国家試験指導センターホームページの「募集要項」をご確認ください。 https://www.meiji.ac.jp/netsc/admin_lab/accepted/accepted.html	
3	入室試験 :1 年生	4月19(土)午後 面談試験	【駿河台キャンパス】 ※1年生は面談試験のみです
	入室試験 :2 年生	4月12日(土)10:30～12:00 4月19日(土)午前 筆記試験 時事問題・一般教養・数的処理など合計 36 問 面接試験	【和泉キャンパス】 【駿河台キャンパス】 ※2年生は筆記・面接試験の受験が必須です
4	合格発表	4月22日(火)12時30分を目途に、Oh-o! Meiji を通じて可否をお知らせします	
	入室手続き	詳細については合格者のみ Oh-o! Meiji にて配信いたします。 内容を熟読の上、期日までに手続きをお済ませください。 室費：1年生 66,000 円 2年生 66,000 円 3年生 132,000 円 4年生 66,000 円 ※新規入室料 5,500 円	

【問い合わせ先】
行政研究所事務室(和泉キャンパス リエゾン棟2階)
TEL : 03-5300-1448 (平日のみ 10:00～18:00)
E-mail : izgyosei@cmm.meiji.ac.jp

FAQ

- Q. 理工系学生のための講座はありますか？**
A. 理系公務員講座として技術系公務員を目指す人を対象とした講座が生田キャンパスで開講しています。
- Q. 民間就職と公務員は併願できますか？**
A. 公務員採用にかかわる制度改革が行われ、民間就職と併願しやすいスケジュールになりました。例えば、国家総合職「教養区分」試験は19歳以上（主に2年生以上）から受験できるようになりました。また、専門区分での試験も3年生の終わりの3月に1次試験が、4年生の4月から5月に2次試験、そして6月に官庁訪問が行われます。
- Q. 自習席など勉強スペースのことを詳しく教えてください。**
A. 1・2年生は和泉キャンパス内にある自習室などを土日祝日含めて7時30分から22時まで利用できます。自由席ですので私物を置くことはできませんが、抽選で専用ロッカーを使用することはできます。
3年生は駿河台キャンパスで夏休み前になると固定の自習席が割り当てられ、試験に向けて勉強を加速させていきます。自習席は講座が行われる教室にも隣接されていて、プロ講師たちとの距離感もグッと近くなり、所属する仲間たちと採用にかかわる情報交換も活発になります。官庁訪問など、面接対策の時期には1200名を超えるOB・OGたちの指導や心強いサポートも受けられます。



自習机にはゼミの先輩から貰ったぬいぐるみ等を飾ってモチベーションを維持しています。

カリキュラム

講座は科目それぞれのプロ講師が一貫して担当します。低学年から講師と長くコミュニケーションすることで、採用に直結する面接や政策論文では充実かつ熱心な指導を受けることができます。また、web受講フォローもあります。

1・2 年生 年間140コマ	通 年 経済学・数の処理・行政法	秋 学期 民法・政治学 文章理解	教養区分対策 GW・GD 集団討論
	春 学期 憲法		
3 年 生 年間590コマ	共 通 科 目 ・ 専 門 科 目 法律系、経済系、行政系		
4 年 生 年間80コマ	専 門 記 述 対 策 個 別 指 導 ・ 官 庁 訪 問 対 策 面接指導など		

講 師 紹 介

天田直樹 先生（法律系科目担当）
「行政」は国民の代表である国会が制定した法律に基づいて行われており（法律による行政の原理）、行政に携わる職員を採用する公務員試験においては、憲法・民法・行政法を中心に、刑法・商法・労働法なども試験科目とされている場合があります。志望先をイメージして、大学の学部の講義と行政研究所の試験対策講座の両方を活用して頑張りましょう。

近 裕一 先生（行政系科目担当）
行政系科目では、政治、行政、国際関係、社会一般について、幅広い知識を学んでいきます。学習を進めるほどに知識が相互に結びつき、面白さが分かってきますので、これから一緒に頑張っていきましょう。

蜂巢 旭 先生（経済系科目担当）
経済学は、授業後すぐに復習をすることが肝心です。グラフを描きながら論理を理解し、計算問題に慣れれば、本試験でも安定して得点できます。一緒に頑張りましょう！

宮脇真理子 先生（教養科目担当）
行政研究所では試験を突破するためのカリキュラムが十分に備えられています。また、現在の社会課題や解決のための方策を共に議論できるのが行政研究所の良いところです。社会のために立ち上がろうという皆さんを応援します。一緒に頑張りましょう。

加藤耕一 先生（法律系科目担当）
求められる人になろうと努力する学生への協力は惜しみません。行政研究所の講師は、各試験に合わせた講義だけでなく、面接に必要な話す力・聞く力を身につけられるように指導することのできる頼りになる方々です。行研究生であることを大いに活用して下さい。

関野 喬 先生（教養科目担当）
数的処理は算数とパズルを合わせた科目で教養試験の要諦です。「数」と聞き拒否反応を示した人も大丈夫。基礎から丁寧にやります。本当の意味での教養の話もできたらと思います。一緒に頑張りましょう。

平野真武 先生（経済系科目担当）
現在の日本は、多くの問題を抱えています。問題を解決し、より良い社会を作り出していくことは大変なことですが、大きなやりがいがあります。社会に対する興味と熱い思いを持った学生が、行政研究所に来ることを期待しています。

渡辺一郎 先生（法律系科目担当）
持続可能で豊かな日本、安全・安心な日本を築くため、行政の場では企画・立案・総合調整できる知識を備えた優秀な人材が必要不可欠です。多数の公務員を輩出した行研で、確実に試験を突破し、日本を支える「柱」の一人になってほしいと思います。一緒に、がんばりましょう！

大学生活ってどんな感じ？

4つの質問で見えてくる 行研ライフ！

履修モデル

Case 1



法学部・65期
倉持早桜里
国家専門職(国税専門官)

ある日の一日

6	6:00 起床
7	
8	
9	9:00～17:00
10	大学講義
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	18:00～22:00
19	アルバイト
20	or
21	ボランティア
22	
23	
24	24:00 就寝

Q1 1・2年生の時はどんな風に過ごしていました？

3・4年時に公務員試験に時間を割くことを念頭に置き、1・2年では大学講義にしっかり出席して上限単位を取りきる事を意識していました。

行研ではオンラインと対面を併用して、自分の生活に合わせた勉強スタイルやリズムを見つけ、**1週間の授業を溜めこまない**ことを重要視していました。

勉強だけでなく、執行部に挑戦したり、課外活動で**幅広い年代の方と関わり合う事**を意識しました。

長期短期関係なく様々なボランティア活動やアルバイトをし、その中で興味関心のある分野の知識を深めたり、長期的に付き合っていくことになる人や友人たちとの出会いがありました。

結果的に、**将来の自分にたくさんのお土産を持たせてあげることが出来ました。**

Q2 勉強のお供は？

勉強のお供はアイスコーヒー、お気に入りのマグカップとハンドクリームとお菓子！とストップウォッチです。

Q3 勉強が嫌になったときは…

一回全部やめてみるのも、一つの手です。

また、行研の先生方やOGOB、友人と話をしたりして、その時の不安の解消や自分の選択があっているのかの**相談や、将来の夢を語ったり**していました。振り返ると豊かで愛おしい時間です。

Q4 スマホとの付き合い方は？

気づけば一日中電源を切っていて夜に連絡をとって終わり、なんて日もよくありました…。

また、スタディサプリという勉強記録アプリのアカウントを友人たちと交換して**勉強時間や、やったことの記録をし、お互いにモチベーションを維持**できるように…何てこともたまにしていました。

1・2年生のときの過ごし方☆



履修モデル

Case 2

政治経済学部・65期
齋藤大晴
国家専門職(財務専門官)

ある日の一日

6	
7	7:00 起床
8	
9	9:00
10	自宅で講義
11	(オンライン)
12	
13	
14	
15	15:00
16	大学で講義
17	
18	17:30～20:30
19	行研講義
20	
21	
22	
23	
24	24:00 就寝

Q1 1・2年生の時はどんな風に過ごしていました？

1・2年生の間は、3年生以降の試験勉強に集中できるようにするため、**卒業要件をできるだけ埋める**ことに力を入れていました。

当時はコロナ禍の影響でオンラインの授業も多い状況だったので、2コマ連続している講義でオンラインであるものは優先して履修していたと思います。また、**バイトも初めて経験することが多かった**ので環境になじめるように頑張りました。

土日は基本的に自由に過ごしていて、遊びに出かけるか自宅でゆっくりしていたことが多かったと思います。

Q2 勉強のお供は？

勉強のお供はガム、飴、ラムネなどの**味が長持ちするもの**です。

Q3 勉強が嫌になったときは…

勉強が嫌になったときは無理に取り組もうとせず、**少しだけでも進める**ことは意識していました。

また、仮眠やゲームなど**好きなことを**することでリフレッシュしていましたね。

Q4 スマホとの付き合い方は？

特に基本、制限などはしないで自由に使っていました。**勉強するときは始める前に通知や返信をすべて消化**して、気になることがないようにしてから始めていました。

行研イベントの 思い出

羽成：総会ですね。先輩方の話を聞くことで、自分の進路を決める際にとても参考になりました。それに、まさか話す側として参加した後輩たちに自分の経験を伝えることになるとは思ってなかったんです、そういった意味でも印象に残っています。

菅原：私は3年の夏に参加した2泊3日の清里セミナーハウスでの合宿が一番思い出に残っています。普段授業を受けていても同期とじっくり話す機会がなかったので、合宿を通して仲良くなれたことが嬉しかったです。

坂口：官庁訪問の際に政策の知識が不足していたのをすごく痛感しました。コロナの影響を受けた世代なので、行研の思い出というよりも、先輩方が実施していた政策研究ゼミなど、勉強以外にも議論できる場を作ってみたいと思いました。

新入生の みなさんへのエール

菅原：ご入学おめでとうございます。行政研究所は公務員を目指す学生にとって最高の環境が整っています。行政研究所での生活を通して、仲間と切磋琢磨しながら合格をつかみ取ってほしいです！それに、自分の公務員試験を振り返ると、行政研究所がなかったら今の自分はいないと思います。進路について悩むことも多くあると思いますが、少しでも公務員に興味をもつ



小林：懇親会とか交流会みたいなものを開催して、仲を深めるイベントがあると、もっと行政研究所での活動が充実すると思います!!

65期生
(2024年度卒業)
リバティータワー2階
陽だまり広場

他学部の人にも出来るので、
交友関係が広がるよ!



ていたら、ぜひ行政研究所に入所して、本当に自分のやりたいことやなりたい姿を見つけてみてください。

小林：行政研究所は、ただ公務員試験に合格するためだけではなく、「学生生活を送るうえで、最高の仲間ができる」ことが魅力です！勉強や就活のころを振り返ると、一緒に頑張る友達の存在には、とても支えられました。かけがえのない仲間を得ることができる、行政研究所を自信を持ってお勧めします。そして、このパンフレットを見てください。皆さんが、少しでも行政研究所という場所に興味を持ってください。

羽成：自分の夢や、やりたいことを実現させるのに、行政研究所は一番良い場所なのでフル活用してほしいです。公務員試験は長丁場のため、精神的に辛いことが多いと

と思いますが、そんな時こそ行研生同士で助け合いながら頑張ってください。そこが行政研究所の良いところのひとつでもあります。私たちOB OGも皆さんが必要とすればいくらでも協力します。OBの1人としてみなさんのことを心から応援し、活躍を期待しています。

坂口：行政研究所は、公務員を目指す皆さんを、先生方やOB OGの先輩方などが全力で支えてくれます。同じ目標を目指す大学の仲間も身近な存在です。振り返ってみると、公務員試験のことを何も知らずに行政研究所に入りました。が、結果的に入って正解だったと思っています。なぜなら、この恵まれた環境のおかげで、試験や面接を乗り越えることができたと感じるからです。少しでも公務員という職業に関心を持ってパンフレットを開いてくれたなら、ここでの勉強やバックアップがみなさんの力になることと信じて、入室を決めてもらえたら嬉しいです。

和泉キャンパス(リエゾン棟)
TEL : 03-5300-1448
E-mail : izgyosei@cmm.meiji.ac.jp
受付時間 : 月～金 10:00-18:00
(昼休み13:30-14:30を除く)

駿河台キャンパス(猿楽町校舎)
TEL : 03-3296-4420 FAX: 03-3296-4315
E-mail : gyoken@cmm.meiji.ac.jp
受付時間 : 月～金 9:30-18:00



行政研究所って
こんな
ところ！

卒業前にみんなで記念写真を
撮ったのも良い思い出!





■ 関野 喬先生
 明治大学行政研究所や
 大手資格試験予備校で
 長年指導に従事。近年
 はYouTubeでの発信
 にも注力している。
 担当科目：数的処理・
 自然科学・面接対策



3年になってからは、授業も対面
 できるようになり、自習室や談話
 室を毎日使っていた記憶がありま
 す。

坂口：私は自習室以外にも、大教室
 で講義動画を視聴するなど、3年
 生になってからは猿楽町校舎を大
 いに活用しました。

菅原：勉強でいえば、参考書は、先
 輩方が残してくれたスー過去（ス
 ーパー過去問ゼミ）を譲ってもら
 ったり、事務室にある過去問50
 0を借りて、全部自分で買い揃え
 なくていいのも助かりました。

羽成：それに事務室には、先輩方の
 体験に基づく官庁訪問や面接の記
 録が残っています。最終関門とな
 る、採用に関わる情報が詳しくま
 とめられています（持出禁止）。
 ネットでは公開できない貴重なノ
 ウハウなども事前に閲覧すること
 ができ、緊張せずに臨めました。
 また、同じ目標を持つ人（仲間）
 と情報を共有したり、士気を高め
 合えたことが良かったです。

ここ数年で公務員試験は大きく変化しています。昨年から
 2年生で国家公務員総合職（教養区分）、今年から3年
 生春に一般職（教養区分）が受験可能になります。早い
 段階で数的処理や文章理解を学習すると、その後のスケ
 ジュールに余裕が生まれます（就活にも使えます）し、歴史
 や地理、理系科目の幅広い学習は、皆さんがこれからの
 大学生活で学ぶ内容の基礎にもなります。大学で学ぶ学
 問の基礎と、就職に向けての対策を合わせて効果的に
 行っていきたいです。

みんなで頑張ろう！



行政研究所って こんな ところ！



■ 図書コーナー
 参考図書の貸し出しや
 新聞を常に見ることができる
 環境があります。
 先輩からの「官庁訪問」などの
 就職活動にかかわる
 お宝資料（持出禁止）があります。



仲間や先生とも
 関係を深めることができます！

行研究生の特権。 OBOG（先輩）との 繋がり

小林：自分が気になっている省庁の
 OBOG（先輩）がいないか、よ
 く事務室に確認してもらってまし
 た。実際に、5人の先輩と会って
 話を聞くことができました。

菅原：私は先生方に先輩方と繋いで
 もらいました。志望先であり憧れ
 の先輩には面接対策から悩み相談
 まで乗ってもらいすごく助けてい
 ただきました。官庁訪問は省庁に
 よって形式がかなり違うので、対
 策しにくいと言われてますが、先
 輩方の応援と支援のおかげで東京
 入管の採用を勝ち取ることができ
 ました。

モチベーションを 上げる。 気分転換や 自分へのご褒美♡

坂口：勉強に煮詰まっていた時
 は、家で自分の好きな動画や映画
 を見たりして気分転換しまし
 た。また、寝たり、音楽を聞いた
 り、友達と話して不安を解消して
 ました。

菅原：私もとにかく友達と話す時間
 を大事にしました！ なんと
 く話を聞いてもらえるだけで気持
 ちが軽くなったりするし、一人で
 抱え込まずに誰かに相談できる仲
 間の存在がありがたかったです。

坂口：それに、私は家で集中できな
 いタイプだったので、家に勉強を
 持ち込まない代わりに、自習室に
 いる間や通学時間で集中するとい
 う、メリハリをつけて勉強するよ
 うにしていました。

菅原：細かい目標を多く立てて、達
 成した時に自分にご褒美をあげて

講義は 対面出席を オススメします

坂口：私は国家総合職（経済区分）が
 第一志望だったので、平野先生の
 授業は対面で参加しました。蜂
 巣先生のミクロマクロ経済学や経
 営学、TACの統計・計量経済学
 はほぼオンデマンド受講でしたが、
 必要な経済科目はすべて勉強しま
 した。

羽成：僕は国家総合職（法律区分）を
 第一志望としてたので、法律科目
 を中心とした講義に対面で出席し
 てました。ただ、学部の講義の関
 係で出席できないときや体調を崩
 したときはオンデマンド（動画視
 聴）も活用してました。自分の性
 格上、オンデマンドだと動画を溜
 めてしまうと分かっていたので、
 対面で参加するように心がけてい
 ました。

ましたね。公務員試験に向けてず
 っと気を張っていても疲れてしま
 うので、オンオフの切り替えをし
 っかりして、趣味や遊ぶ時間も適
 度に設けていました。



年間スケジュール

行研の様々なイベントは、行研生たち自ら企画・運営しています。これらのイベントを通して、「ヨコのつながり」同じ志を持つ仲間と切磋琢磨し、「タテのつながり」先輩や講師の指導を受けます。

私たちが
67期の行研執行部を
務めています！

合宿や講演会などを
企画しますので、
宜しくお願いします。

副企画長
太田空良
(農3)

幹事長
前田晴奏
(政経3)

副幹事長
鬼澤宏樹
(法3)

模擬試験
(1・2年生)

秋学期総会
(1・2年生)

行研運営を2年生幹部が
引き継ぎます。
終了後は4年生による
合格体験座談会などが
行われます。

OBOG
懇親会(2・3年生)
(隔年開催)

様々な場所で勤務する
先輩方の貴重なお話を聞き
繋がる機会です。

GD・GW 対策
集中講義(秋)

夏合宿
(2年生参加必須)

3年生の幹部学生が引率します。
昨年は1泊2日
@清里セミナーハウスで
行われました。

ガイダンス &
入室試験

春学期

秋学期

67期執行部からのコメント

- ・2年生の時に参加した、合宿などを通して素敵な仲間ができました！(合宿長・藤田)
- ・授業だけでなく年間イベントを通じて同じ志の仲間と出会えたり、OBOGの先輩方から直接話を聞くこともできるためモチベーションを維持しながら学習できます！(幹事長・前田)
- ・身近な友達と一緒に目標に向かって進むことができ、励まし合いながら勉強を進められる環境が整っています。(総務長・小林)
- ・同じ教室で学ぶ同期とのヨコの繋がりに加えて、先輩やOBOGとのタテの繋がりがあるのも行研ならではです！(副幹事長・鬼澤)
- ・公務員を目指す明大生にとって、理想的な学習環境が整っています！興味のある方はぜひ行政研究所へ！！(企画長・高島)

行政研究所だけじゃない！
就職キャリア支援センターの
公務員支援

M-Careerに登録すると、個別相談やOBOG名簿閲覧、GD・面接会等の選考対策イベント参加など就職活動のサポートを受けることができます。行政研究所での勉強や活動にプラスして、就職キャリア支援センターも積極的に利用しましょう。



M-Career
<https://meiji.pita.services/career>

総務長
小林旺太郎(法3)

ようこそ
行政研究所へ！

企画長
高島 樹
(法3)

対面式

1・2年生が一堂に会し、
年間行事の説明がされ
係りなどを決めます。

春学期総会(1・2年生)

合宿の詳細連絡などが
行われます。
終了後はOBOG講演会などが
企画されます。

GD・GW 対策(1・2年生)
集中講義(春)

とは？

人物試験などでは
GD(グループディスカッション)や
GW(グループワーク)の対策を
しておくことが必要不可欠です。
春と秋に実施される集中講義で、
知識よりも体験がモノを言う
GD・GWのレベルアップに
取り組みましょう。

明大生の就職先

2024年ランキングの

第1位は、東京特別区72人、

第2位は、国家公務員(一般職)67人です。

これらの公務員になるためには、
「公務員試験」を
突破しなければなりません。

しかしながら、この「公務員試験」は
大学入学試験以上の範囲と知識量、
そして公務員として人々の暮らしを
豊かにしたいという志が求められます。
すなわち、ただがむしゃらに
勉強しているだけでは合格することが
難しい試験と言わざるを得ません。

当研究所では、1・2年生は
和泉キャンパスで民法・憲法・経済学・
政治学・行政法・数的処理など
基礎力養成講座を実施。

3・4年生は駿河台キャンパスで
応用力養成のための講座ならびに
論文や面接指導、官庁訪問対策など
年間で800コマを超える学内講座を
設けています。

私たちが
行研をご紹介します

CrossTalkMember



法学部法律学科・65期
羽成佳祐
東京都庁

政治経済学部政治学科・65期
小林隼磨
人事院(国家一般職)

文学部史学地理学科アジア史専攻・65期
菅原愛美
東京出入国在留管理局

商学部商学科・65期
坂口楓菜
財務省財務局

2025
careeras
PublicServant

行政 研究所

行政研究所に 入ったきっかけ

羽成：公務員試験の予備校を探して
いるときに行政研究所を見つけて、
民間の予備校と比べてみて全体的
にメリットが大きいと感じたから
ですね。

菅原：私は高校生の時から公務員と
いう仕事に漠然と興味を持ってい
ました。そんな時、明治大学のイ
ンターネットで行政研究所を見つ
けて入室を決めました。

坂口：行政研究所の存在は知ってい
ましたが、所属はしていませんで
した。ですが2年生の時に公務員
試験を受けるか迷っていて、学校

でのサポートが受けられる点に魅
力を感じて入室しました。

小林：僕は1年生から行研に所属は
していましたが、正直なところ1、
2年の時はあんまり講義に出席し
ていませんでした。3年になるタ
イミングで行政研究所の幹部にな
り、それがきっかけで多くの講師
や先輩、同期とのつながりが増え
たことは、とてもよかったと思
います！

こんな風に 行政研究所を 活用していました

小林：1、2年の時はオンライン中
心に講義を受けてました。だけど

こんな
ところ！